

平成24年度くすのき賞

5月8日、平成24年度「くすのき賞」が国米利明（成峰）さん（中北下）に贈呈されました。この賞は、津山市文化連盟が地域の文化・芸術活動に活躍する個人や団体に贈るものです。

国米さんは、30代前半から本格的に書道を学び始め、県内での展覧会など入賞経験も多数あります。

また、後進の指導にも精力的に取り組まれていて、地元小学校の書道講師や書道教室を主宰されています。

国米さんは「書をする事で生活にうるおいが生まれます。書は情操に役立つと思っています。これからも頑張りたいですね」と受賞の喜びを語りました。



怖いけど、触ってみたい、見てみたい

つやま自然のふしぎ館 ナイトミュージアム

5月11日、つやま自然のふしぎ館（山下）で初めてのナイトミュージアムが開催されました。

参加者73人はガイドの説明を聞きながら、トラやライオンなどの剥製や、貝や蝶などの標本を懐中電灯で照らしながら見学していきます。今回は剥製を触ることもでき、子どもたちが「怖い〜」などと叫びながら恐る恐る触っていました。

初めて来館した中村祥太郎さん（成小1年生）は「剥製を触るのは怖かったけれど、楽しかった。また、来たい」と話してくれました。

見る・食べる・楽しむ

道の駅・久米の里仙人まつり 阿波ふるさと祭り

道の駅・久米の里仙人まつり



阿波ふるさと祭り



4月28日、道の駅・久米の里（宮尾）で仙人まつりが開催されました。ステージでは、ちんどん劇場やビンゴゲームなどが行われ、会場はにぎわいました。また、モビルスーツの搭乗体験には、大勢の家族連れの長い列ができ、広島県から来た人もいました。

5月19日には、阿波地域で阿波ふるさと祭りが開催され、ヒラメの塩焼きや山菜おこわ、ウドやワラビなどの山菜を、大勢の人が買い求めていました。また、美作大学の学生による沖縄エイサーや、パルーンアートショーなども行われ、会場を盛り上げました。

第57回全日本銃剣道優勝大会 【防衛省第2部】優勝 陸上自衛隊日本原駐屯地チーム



4月に日本武道館で行われた「第57回全日本銃剣道優勝大会【防衛省第2部】」で見事、10連覇を果たした日本原駐屯地チーム。

監督の南條和志さん（日本原）は「チーム一丸となって戦ったことが優勝につながった。これからも、できる限り連覇記録を延ばしていきたい」と喜びと抱負を語りました。



新緑の因美路をゆっくり楽しむ

みまさかスローライフ列車

5月11・12日、みまさかスローライフ列車がJR因美線で開催されました。

乗客たちは、車窓から田舎が進む沿線の田園風景を楽しんだり、美作滝尾・美作加茂・美作河井駅など各駅で地元の皆さんが販売する、地域の特産品や手打ちそばなどを楽しそうに買い求めていました。

また、美作加茂駅では、ナルト列車とすれ違う場面も見られ、熱心な鉄道ファンが盛んにシャッターを切っていました。

本物にじっくり見入る

津山郷土博物館企画展「蕙齋が描いた日本・江戸・津山」

4月6日～5月6日、津山藩のお抱え絵師・鉦形蕙齋が描いた「江戸一目図屏風」の実物が展示された企画展に、3,460人が来場しました。

来場者は、細かに描写された江戸の町並みを前に「ここが江戸城で・・・、ここが浅草寺・・・」などと指さしながら、じっくり見入っていました。

東京から訪れたという人もいて「東京スカイツリーで江戸一目図屏風の複製を見て、本物を津山で見ることには価値があると思い、やって来ました」と話してくれました。



綺麗な津山でおもてなし

2013近畿・中国・四国B-1グランプリin津山1カ月前清掃

5月25・26日に開催された「2013近畿・中国・四国B-1グランプリin津山」を1カ月前に控えた4月27日、市民約250人が参加して会場周辺の清掃活動が行われました。

参加者は鶴山公園周辺や中心商店街、JR津山駅前などに落ちていた空き缶や落ち葉を集めたり、側溝に溜まったごみなどを回収したりしました。宇佐美樹さん（津山商業高校3年生）は「意外にごみが多くて、びっくり。綺麗な津山をお客さんに感じてほしい」と話してくれました。

(B-1グランプリの様子は広報つやま7月号に掲載します)

第60回岡山県消防操法訓練大会

5月19日 岡山市



消防団の技術と操作の正確性・俊敏性を競う操法訓練の県大会。津山市からは、阿波方面隊と東部方面隊が出場し、規律のある動作で、訓練の成果を披露しました。